

市立
小諸高原美術館・
白鳥映雪館

～日本を代表する広告・グラフィックデザインの作品展～
日本のアートディレクション展 2020-2021
【同時開催】2021 長野 ADC 展



日本の広告・デザイン界を代表する「東京アートディレクターズクラブ(通称:ADC)」主催の公募展「日本のアートディレクション展 2020 - 2021」と、長野県内の広告・デザイン界で活躍している「長野アートディレクターズクラブ(通称:長野 ADC)」の「2021 長野 ADC 展」を小諸高原美術館で同時開催します。

本年度の「日本のアートディレクション展 2020-2021」では、昨年度と今年度の2年分の優秀作品を展示します。「長野 ADC」は、県内に在住するクリエイターが参加している組織で、長野県の広告・デザイン界の牽引役としての位置を占めています。

日本と信州の最先端のデザイン作品を同時に観ることができるのは、小諸高原美術館だけです。テレビや大手メディアなど日常に見かけることのあるデザイン広告作品が展示されます。この機会にぜひお出かけください。



- ▶会期 1/9(日)～2/11(金) 9:00～16:00
- ▶会場 市立小諸市高原美術館・白鳥映雪館
第1・第2展示室、市民展示室
- ▶観覧料 無料
- ▶休館日 1(土)～8(土)、11(火)、17(月)、24(月)、31(月)

☎ 小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

昆虫写真家

海野和男の小諸日記



オオカマキリの卵のう

オオカマキリは小諸では一番多いカマキリで、^{かんぼく}灌木に産卵することが多い。卵はスポンジのようなものに包まれている。これは母カマキリが産卵しながら粘液を出し、お尻を動かして泡立てて作ったものだ。中には多いものでは300近くもの卵が入っている。卵のうと呼ばれるこのケースは卵を乾燥や外敵から守ってくれる。

それでも卵にも敵は多い。秋にはオナガヤドリコバチというとても小さいハチがカマキリの卵のうに長い針をつき刺して卵を産む。体長は3mmほどしかないが5mmぐらいの産卵管を持っている。ヤマガラやシジューガラも大敵だ。

雪の多い年は、カマキリの卵は高いところに産まれるとの研究があるそうだ。それは新潟での話で、真偽は確かではない。小諸ではそもそもオオカマキリは低いところに卵を産むことが多い。けれど小諸は元々雪が少な

く、本当は雪に埋もれるぐらいが乾燥から身を守るのに良いと思う。



子育てを応援するフリーマガジン [ママモ]

mamamo

ママモ51号は好評配布中です!

特集

小学校入学前の不安・悩みに答えます / 健康な減量と体づくり

お便り、お写真など投稿募集中 → <http://mamamo.info/> 右のQRからどうぞ。



企画・編集・発行:株式会社アイク 佐久市猿久保805-1 TEL.0267-66-6660 FAX.0267-66-6661

始めました

mamamoの
LINE



QRより「お友だち追加」をお願いします!

●「お友だち追加」でうれしい特典●

- ①ママモの表紙モデルに応募できる!
- ②会員さん限定のお得な情報をゲット! などなど...